

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほほえみ

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 03 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	ホームの近くに住む職員がいて、いざという時の協力体制が整っているが、夜勤者一人を想定し、夜間9人の利用者を安全に、避難場所に誘導するための訓練を実施していく。	職員二人で、利用者と夜勤者の立場になって、避難訓練を実施し、目標タイムを設定し、達成するまで訓練を定期的に続け、職員の自信と、安心に繋がる避難訓練を実施していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	運営推進会議に地域の役員が多数参加しているので、委員の協力を得て、地域住民が、地域の行事やホームの行事に相互に参加し、地域交流の輪を広げていく。	地域の独居老人の安否確認や高齢者の介護相談を受け、解決に向けて一緒に考え、地域の福祉事業の拠点として、何でも気楽に相談が出来る、グループホームを目指す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。